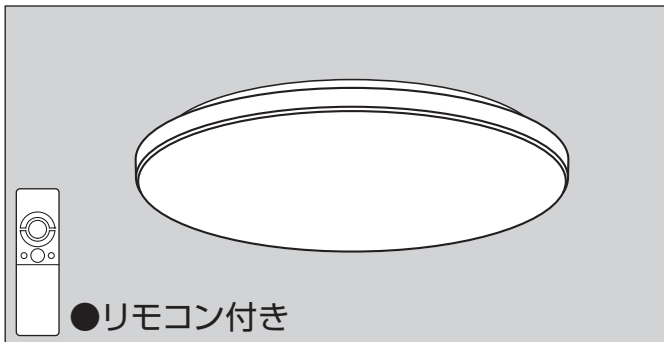


保管用

施工説明付き

保証書別添付

取扱説明書



## 住宅用照明器具 (シーリングライト)

品番 LGBZ0200C

### もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	3
照明器具を取り付ける	4
照明器具を取り外す	5
各部のはたらき	6
あかりをつける	7
リモコンの便利な使いかた	8
故障かな?と思ったら	9
お手入れについて	9
ご使用上に関するお知らせ	裏表紙
仕様	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

#### お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を必ずお読みください。  
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

#### 工事店様へ

- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

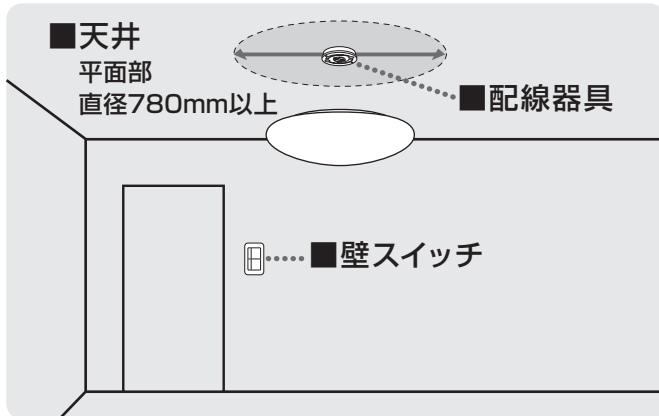
**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

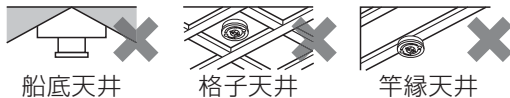
## 警告



### ■天井

**必ず守る** ●必ず上図のような平面部の直径が780 mm 以上の天井に取り付ける  
落下によるけがのおそれがあります。

●凹凸のある場所に取り付けない  
落下によるけがのおそれがあります。



**禁止** ●傾斜した場所に取り付けない  
火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。  
※傾斜天井用アダプタ (別売: 品番HK9048) を使用した場合は、55度までの傾斜天井に取り付けできます。  
詳細は傾斜天井用アダプタの取扱説明書をご参照ください。

### ■その他

**分解禁止** ●器具を改造したり、部品交換をしない  
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

**必ず守る** ●異常を感じた場合、速やかに電源を切る  
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

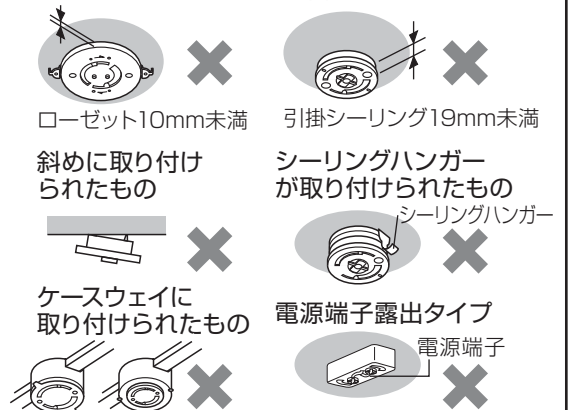
**必ず守る** ●交流100ボルトで使用する  
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。



### ■配線器具

●がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない  
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない  
落下によるけがのおそれがあります。  
内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの



### ■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する  
火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

●アダプタは確実に取り付ける  
落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付ける  
破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける  
破損して感電のおそれがあります。

# ⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- 1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき、自主点検してください。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- カバーは確実に取り付ける。落下してけがのおそれがあります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。

- お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

- この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない。火災の原因となることがあります。

- 器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

## 各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

### 照明器具

本体取り付け用付属部品

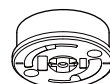
アダプタ (1個)

補修品番NZ2716M

配線器具

配線器具

丸型フル引掛シーリング(1個)



引掛シーリング用木ネジ (2本)



常夜灯

リモコン受信器



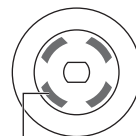
操作方法は、6、8ページ参照

LED

コネクタ

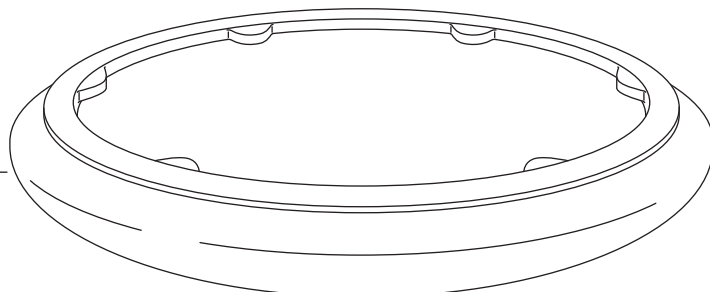
本体

※器具本体裏面に4カ所ついている黒スポンジは取らないでください。(本体回転防止のため必要です)



黒スポンジ

カバー

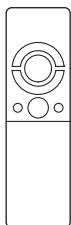


### リモコン付属部品

リモコン (1個)

補修品番HK9481MM

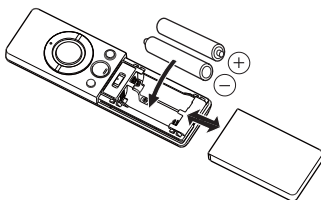
操作方法は、6~8ページ参照



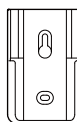
単3形マンガン乾電池 (2本)



- リモコンのフタを開けて、単3形乾電池を2本入れる。



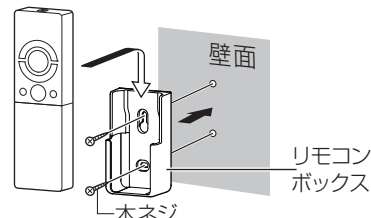
リモコンボックス (1個)



リモコンボックス用木ネジ (2本)



- リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。



壁面

リモコンボックス

木ネジ

# 照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。☞裏表紙「ご使用上に関するお知らせ」参照

## 1 天井についている配線器具を確認する

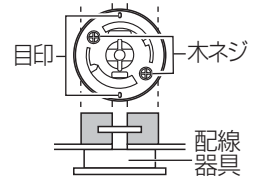
下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に同梱の配線器具への取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

### 警告

**必ず守る** 目透かし天井へ取り付ける場合は、目透かしの方向に目印を合わせて取り付ける  
落下してけがのおそれがあります。



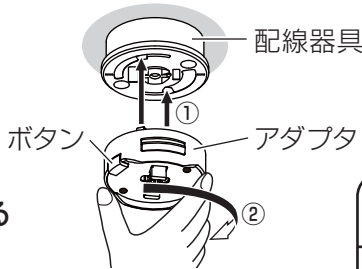
天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。2の作業へ進んでください。

丸型フル引掛シーリング	フル引掛ローゼット	角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング	引掛埋込ローゼット	引掛埋込ローゼット (ハンガーなし)
天井からの出しろが 22 mm の配線器具				天井からの出しろが 11 mm の配線器具	

## 2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

②カチッと音がするまでアダプタを右に回して取り付ける

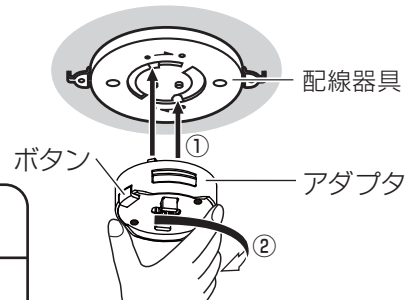


### 確認

ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する

### 警告

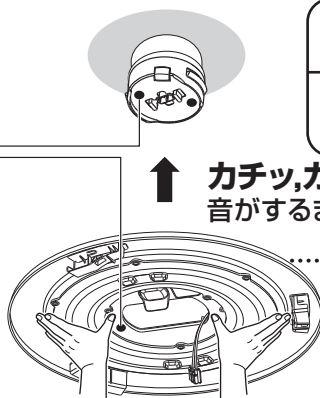
**必ず守る** アダプタは確実に取り付ける  
落下してけがのおそれがあります。



## 3 本体を押し上げて取り付ける

①印(黒丸)を合わせる

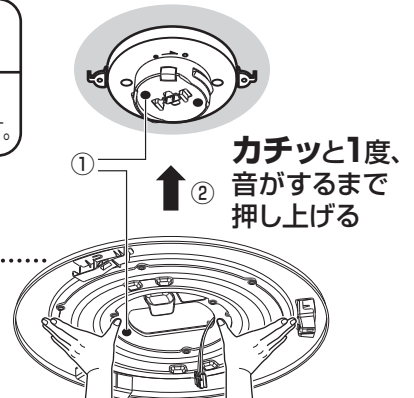
②カチッと音がするまで本体を押し上げる



### 警告

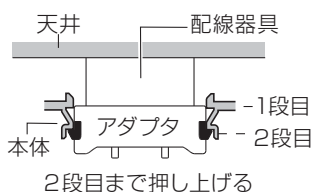
**必ず守る** 本体は確実に取り付ける  
破損して感電のおそれがあります。

※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

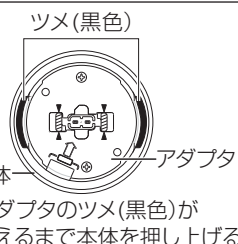


### ●アダプタの本体取り付け位置

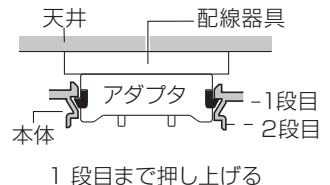
横から見た図



下から見た図

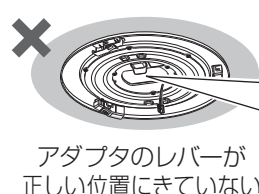
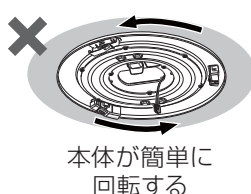
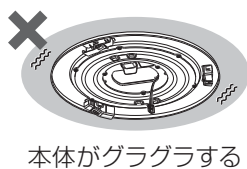


横から見た図

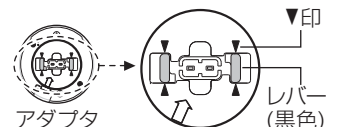


### 確認

本体が正しく取り付けられているか必ず確認する。



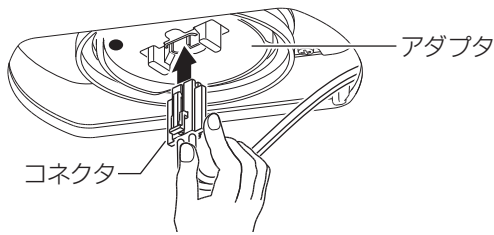
○レバーと▼印が合っているとコネクタは接続できます(下図参照)



上図の場合、正しく取り付けされていないので3を再度行ってください。

## 4 コネクタをアダプタに差し込む

コネクタを  
確実に  
差し込む

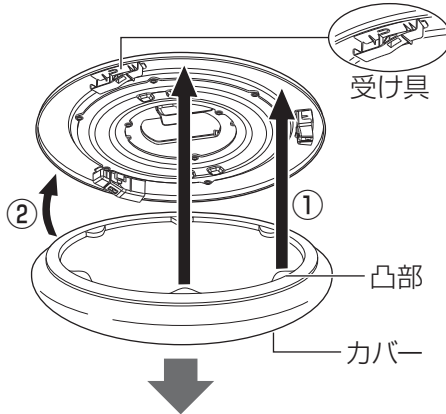


### 確認

- コネクタが差し込めない場合は  
本体が正しく取り付けられていません。  
→差し込めない場合は、前ページ**3**に戻る。
- 引っ張って、コネクタが抜けないことを確認する。

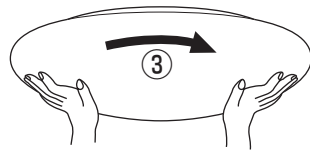
## 5 カバーを取り付ける

① カバーの  
凸部2カ所を  
本体の受け具  
と受け具の間  
に合わせる



② カバーを  
持ち上げる

③ カバーを  
止まるまで  
右に回す  
(回転角度は  
最大で約50度)



### 警告

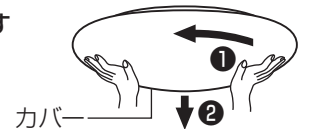
**必ず守る** 本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける  
破損して感電のおそれがあります。

### 注意

**必ず守る** カバーは確実に取り付ける  
落下してけがのおそれがあります。

### カバーの外しかた

- ① カバーを左に約20度回す
- ② カバーを外す

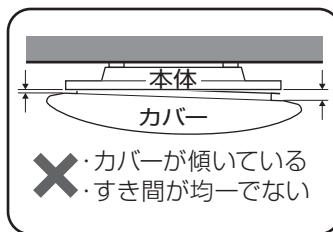


### 確認

カバーが一回転しても取り外せない場合は、  
本体が正しく取り付けられていません。  
→取り外せない場合は、  
本体を押さえながらカバーのみを左に回して外し  
本体を正しく取り付け  
☞ 左記 **確認** 手順(1)~(3)参照

### 確認

- カバーが一回転しても取り付けできない場合は、  
本体が正しく取り付けられていません。  
→取り付けできない場合は、  
(1) コネクタを抜く ☞ 下記「照明器具を取り外す」手順**1**参照  
(2) 本体を押し上げる ☞ 前ページ 手順**3**参照  
(3) コネクタを差し込む ☞ 上記 手順**4**参照  
(4) 再度、手順**5**を行う
- カバーが傾いていないか、すき間  
が均一になっているか確認する。  
→カバーが傾いたり、すき間が  
均一でない場合は、カバーの  
凸部が受け具にはまっていない  
可能性があります。  
カバーを左に回して外し、再度、  
手順**5**を行う

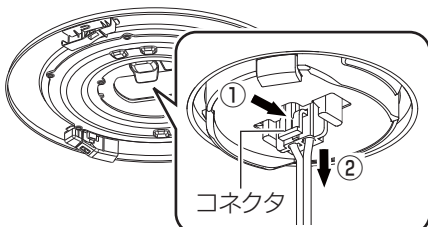


## 照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

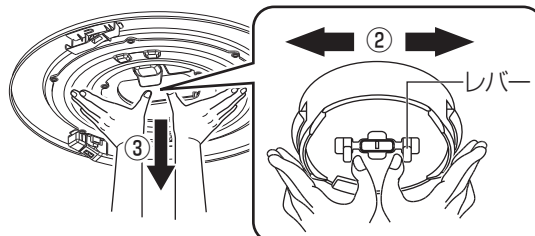
### 1 コネクタを外す

- ① つまみながら
- ② 引いて、外す



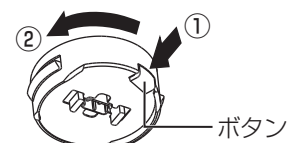
### 2 本体を外す

- ① 本体が落ちないようにしっかりと支え
- ② レバーを矢印の方向(左右)に広げたま
- ③ 本体をゆっくりと下げて、外す



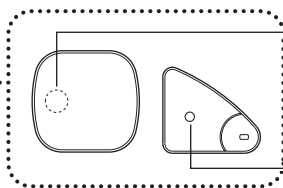
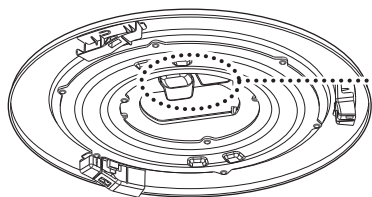
### 3 アダプタを外す

- ① ボタンを押しながら
- ② 左に回す



# 各部のはたらき

## リモコン受信器 (本体)



### リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。  
※傷つけたり、汚したりしないでください。

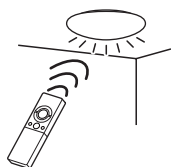
### チャンネル設定スイッチ

器具のチャンネルを設定する場合に使用  
☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照  
※5秒以上の長押しで器具の初期設定に戻ります。  
☞ 9ページ「故障かな?と思ったら」参照

## リモコン

### 送信のしかた

必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。



### リモコン送信部

※傷つけたり、汚したりしないでください。

### 全灯ボタン

LEDが明るさ100%で点灯

### 常夜灯ボタン(蓄光)

常夜灯が明暗ボタンで変更した明るさで点灯  
(初期設定:100%の明るさ)  
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。  
☞ 7ページ「常夜灯を調光し記憶させる」参照

### チャンネルボタン

操作する器具のチャンネル(1~3)を設定  
☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

### 普段ボタン

LEDが明暗ボタンで変更した明るさで点灯  
(初期設定:明るさ約70%)  
☞ 7ページ「LEDを調光し記憶させる」参照

### 明暗ボタン

LED(100%~約5%)、常夜灯(6段階)の明るさを調整  
☞ 7ページ「LEDを調光し記憶させる」、  
「常夜灯を調光し記憶させる」参照

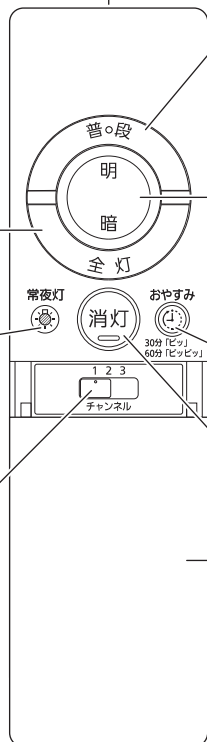
### おやすみタイマーボタン

☞ 8ページ「おやすみタイマーをセットする」参照

### 消灯ボタン

### フタ

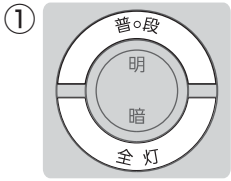
フタをスライドさせて、チャンネル切替を行います。



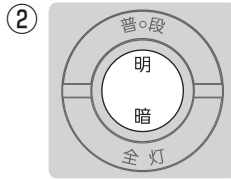
# あかりをつける

## LEDを調光し記憶させる

LED点灯中に調光操作を行うと、その明るさを「普段ボタン」に記憶します。



① リモコンの「普段ボタン」または、「全灯ボタン」を押しLEDを点灯させる



② リモコンの「明暗ボタン」でLEDの明るさを調節する→記憶

### メモ

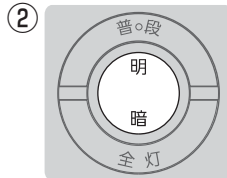
- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
- 「全灯ボタン」を押して明るさを調節した場合も「普段ボタン」に記憶されます。

## 常夜灯を調光し記憶させる

常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。



① リモコンの「常夜灯ボタン」を押し、常夜灯を点灯させる



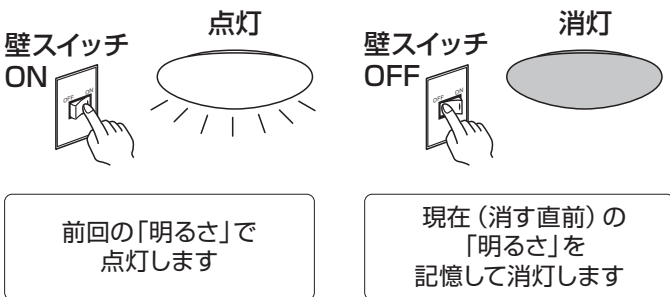
② リモコンの「明暗ボタン」で常夜灯の明るさを調節する→記憶

### メモ

- 6段階の明るさを調節できます。
- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。

## 壁スイッチで照明器具を操作する

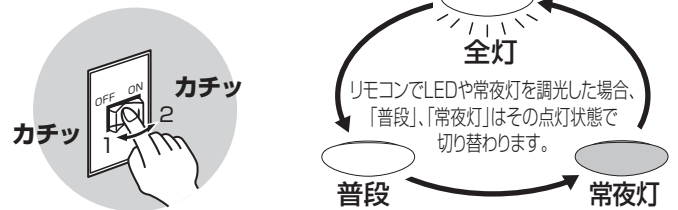
### 点灯・消灯する



- 消灯状態でOFFすると次にONしたときも消灯状態になります。

### 点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内) OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。



- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

# リモコンの便利な使いかた

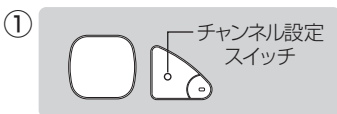
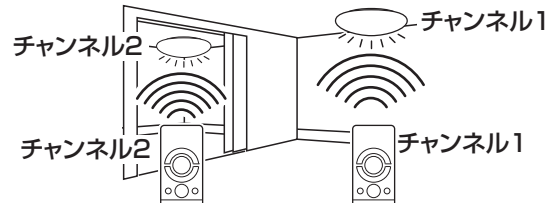
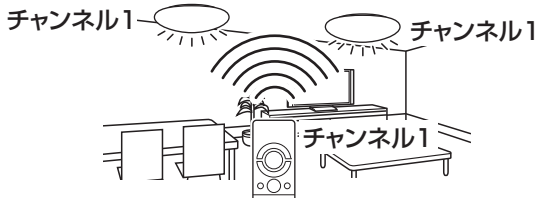
## 複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

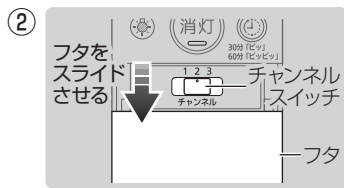
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。  
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

### チャンネル設定でできること

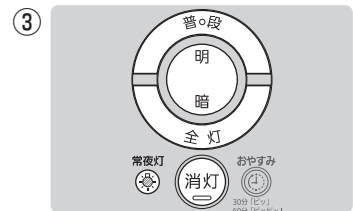
- 複数の器具を同時に点灯できます。  
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。  
(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合
- 近くの器具を別々に点灯できます。  
(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



① リモコン受信器(本体)の「チャンネル設定スイッチ」を押す(1秒以内にはなす)  
→「ピッ」と音がする



② リモコンのフタをスライドさせて「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネル(チャンネル1~3)に合わせる  
(例:チャンネル2)



③ リモコンの普段、全灯、明暗、消灯、常夜灯のいずれかのボタンを押す  
→「ピピーッ」と音がして設定完了

## おやすみタイマーをセットする

おやすみタイマーをセットすると、30分または60分後に自動消灯を行います。



リモコンの「おやすみタイマーボタン」を押して希望のタイマーをセットする

押すごとに下記の動作を繰り返します

30分後消灯 (「ピッ」と音がする) → 60分後消灯 (「ピッピッ」と音がする) → 未設定・解除 (「ピーッ」と音がする)



### メモ

- リモコンでの消灯時でも、おやすみタイマーは、セットされますので、「おやすみタイマーボタン」を押して解除してください。(壁スイッチがOFFの場合は、セットされません。)  
解除しないで点灯させた場合、セットした時間で消灯します。



# 故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度抜き、..... ②本体を押し上げてから..... ③コネクタを再度、差し込む.....	⑤ 5ページ ① ⑤ 4ページ ③ ⑤ 5ページ ④
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く OFF→ONにする	6ページ ⑤ 「壁スイッチで照明器具を 操作する」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ 機能がはたらき、点灯状態が切り替わ った可能性がある	壁スイッチをOFFにする	—
		リモコンもしくは壁スイッチ操作で 点灯モードを切り替える	6~7ページ ⑤ 「あかりをつける」
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」セット中である	「おやすみタイマー」を解除する	8ページ ⑤ 「おやすみタイマーをセットする」
リモコンで操作 できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	⑤ 3ページ
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	⑤ 「各部のなまえと付属部品」
	リモコンと照明器具のチャンネルが 合っていない	リモコンのチャンネルを変更して 操作する	⑤ 8ページ ⑤ 「複数のリモコン照明器具を操作する」
リモコン操作時に ちらつく	調光動作をしている	調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常では ありません。調光動作が終わるとちらつきも止まります。	
点灯状態が 勝手に切り替わる	電子ブロックが異常動作状態になっている	リモコン受信器の「チャンネル設定スイッチ」 を5秒以上押す。(はなすと「ピッ」と音がして、 常夜灯が点灯します。) ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻りま すので、下欄の「上記の処置を行っても現象 が続く場合」の②を行ってください。また、記憶させていた普段のあか り、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻りますので、設定をしなおして ください。	チャンネル設定スイッチ 
「ピピッピピッピピッ」と 音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口 (保証書内在中)にご相談ください	

## 上記の処置を行っても 現象が続く場合

- ①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
- ②器具のチャンネルを変更する ⑤ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

## お手入れについて

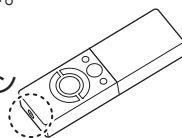
安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、  
定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、  
石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、  
乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。  
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
- 電池は半年を目安に取り替えてください。  
※付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、  
半年に満たないうちに消耗する場合があります。

**確認**

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

リモコン  
送信部



# ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

## 【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないとリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

## 【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

## 仕様

使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
AC100V	50/60Hz共用	35W	(リモコンOFF時(待機時状態) 1W以下) 常夜灯のみ 約1W	0.36A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

# 保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 ( ) -
お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

\*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名	住宅用照明器具
●品番	LGBZ0200C
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

\*保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

\*当社はこの照明器具の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2013

LGBZ0200C - T3A2

N0213 - 021113